

農学委員会分科会の設置について

分科会等名：農学分科会

| | | |
|---|-------------------------------------|--|
| 1 | 所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | 農学委員会 |
| 2 | 委員の構成 | 20名以内の会員又は連携会員 |
| 3 | 設置目的 | 農学分科会は、食料等の耕種的生産に深く関わる作物学、育種学、園芸学、土壌学、植物栄養学、植物保護学(植物病理学、応用昆虫学)、雑草学、農業経済学並びにその基礎分野、関連分野の学術に関わる分野横断的で中長期的な課題を審議するために設置する。参画する分野の多くは生物学を基礎科学とし、これらの分野が農業生態系の維持管理や作物生産に関する課題について俯瞰的で総合的な議論を行うことで、持続可能な食料等の生産に資する科学的助言を行い、もって地球規模での食料問題や環境問題の解決と豊かな未来社会の実現に資することを目的とする。 |
| 4 | 審議事項 | 生産農学に関する中長期的課題、特に「気候変動と農業の持続可能性」に係る審議に関すること |
| 5 | 設置期間 | 令和5年12月22日～令和8年9月30日 |
| 6 | 備考 | <p>第25期の同名の分科会においては、「気候変動と農業」という課題で審議を行ってきており、気候変動の実態とそこでの様々な生産・利用上の問題点が抽出されてきた。この課題はCNにも繋がる大きな設定であるが、潜在する様々なトレードオフの問題を解決しなければならないことから、なかなか課題解決の方向が見えない状況にある。今期は、問題点を絞り、地域性のある農業という産業の特性を踏まえながら、温暖化する気候を前提として、現実的な対応の方法を模索して科学的助言をとりまとめる予定である。</p> <p>「気候変動と農業の持続可能性」は、農学委員会の各分科会共通の課題で、各分科会が異なる切り口で課題解決に向けた方向性を示すことが求められる。生産農学の工学的なサブテーマでは農業生産環境工学分科会等の他の分科会とも協力した審議を行い、農学全体としての学術振興に繋げる。</p> |